

大名みえ子です

〒319-1112 東海村村松 2401-2
電話・FAX 029-284-0761
E-mail toukai@oona-mieko.info

行政視察と自主研修に参加して ①

右記枠内のお通り、5日連続での行政視察・自主研修に参加しました。いずれも時宜にかなった内容で、大変参考になりました。

現在村が進める（仮称）歴史と未来の交流館建設との関係で、特に「施設運営で参考になるところはないか」と議会文教厚生委員会で検討し選択されたのが、岩宿・かみつけの・南アルプスの3ヶ所でした。

本村がめざす（仮称）歴史と未来の交流館は、全国でも初めてのケースの施設となるということです。本村が持つ豊富な歴史的財産・文化財等

を、「子どもたちに生きる力としてどうつなげるか」がめざされていますが、視察した中では、南アルプス市のとりくみが本村のねらいに大変近く参考になりました。市内全体を博物館ととらえ、ふるさと文化伝承館を拠点に子どもたちと共に豊富な遺跡等の確認や情報提供に取り組む「ふるさとまるごと博物館」の実践は、目から鱗でした。このとりくみへの職員の情熱も素晴らしかったです。東海村の担当課職員も南アルプス市をこの間参考にしてきたということです。

この視察には、担当職員4人も同行し学び合うことができました。議会側としては、執行部のめざす（仮称）歴史と未来の交流館像への理解がさらに進んだのではないかと感じました。

- 7月20日（木）群馬県みどり市岩宿博物館
群馬県高崎市かみつけの里博物館
- 7月21日（金）山梨県南アルプス市ふるさと文化伝承館
- 7月22日（土）自治体学校
記念シンポジウム＝住民参加で輝く自治体を
特別報告＝千葉県いすみ市のめざす地域づくり
- 7月23日（日）自治体学校
分科会＝公共施設とまちづくり
ナイター企画＝わたしのまち、あなたのまちの
生活保護を考えてみよう
- 7月24日（月）自治体学校
全体会＝特別講演：社会教育・公民館の役割と地

“東海村まるごと博物館” 構想のイメージが鮮明になってきました

南アルプス市の担当職員（二人の学芸員）のお話では、「洪水のまちと干ばつのまち、原野のまちが合併して南アルプス市となり、このまちの個性をどう打ち出すかが重要だった。考え方として、マイナス面をプラスに転換する発想で、まず町の歴史を明らかにする、そしてその歴史を磨いて育み発信していく」ことを子どもや住民と共にとりくみ、その結果住民にふるさと南アルプス市を知り、好きになってもらうことをめざしている」とのことです。伝承館の紹介では、五感を使って、多くの方に歴史の厚みに裏付けられた南アルプス市の魅力を知っていただけたと思います」と、述べています。



左、写真①は、伝承館での展示の一部で、子どもたちが触って体感しながら楽しめる工夫があります。②は、かつて大洪水から水田等を守った堤防が遺跡となっていて、その紹介をスマホで聞ける工夫ですが、録音は子どもが紹介する声です。③は、堤防の役割を学ぶことの紹介の様子。